

令和 5 年 10 月 6 日
消 防 庁

消防防災科学技術研究推進制度の令和 6 年度研究開発課題の募集

消防庁では、消防防災分野における課題解決や重要施策推進に資するため、消防防災科学技術研究推進制度（競争的研究費）により研究開発を推進しています。
この度、令和 6 年度の研究開発課題を募集しますので、公表します。

1. 募集期間

令和 5 年 10 月 6 日（金） ～ 令和 5 年 12 月 4 日（月）12 時まで

2. 対象とする研究開発課題

【テーマ設定型研究開発（消防庁がテーマを設定）】

次の共通分野又は個別分野の研究開発テーマについて、研究開発課題を募集。

＜共有分野の研究開発テーマ＞

テーマ名	分野
①消防防災の現場で活用可能なロボット技術など、消防分野における AI の活用や DX を推進する研究課題 ＜例＞ ・大規模トンネル火災等の消防隊員が近づけない現場における消火活動を遠隔で行うことが可能な消防ロボット技術 ・火災等の現場状況を迅速に把握・分析して効果的な消防活動を可能とするドローン技術	全分野

<個別分野の研究開発テーマ>

テーマ名	分野
①救急安心センター事業（＃7119）へのAIの活用の効果検証	救急
②林野火災の効果的な消火戦術等に関する研究開発	消防
③木材利用の拡大に対応した消防活動計画のための必要放水量に関する研究	消防
④AIによる火災等の現場の指揮支援システムの開発	消防
⑤ICT技術の導入による予防業務の負担軽減に向けた研究開発	予防
⑥内面にコーティングが施工された鋼製一重殻地下タンクの付着性調査研究	予防
⑦地上デジタル放送波を活用した情報伝達手段の共同運用	防災

【テーマ自由型研究開発（研究者が自らテーマを設定）】

消防機関が直面する課題の解決や、地域の消防防災力の向上を実現するための研究開発課題を募集。

3. 各区分における申請経費の上限、実施期間等

区 分	概 要	申請経費の上限		実施期間
		テーマ 設定型 研究開発	テーマ 自由型 研究開発	
基礎研究 (フェーズ1)	○基礎研究を実施するフェーズ。 ※要素技術の研究などが該当する。 ※大学・企業等が保有する技術シーズに係る消防防災分野でのニーズ（社会実装の可能性）の調査を含む。	390 万円 ／年度	260 万円 ／年度	1～3年間
基盤・応用研究 (フェーズ2)	○社会実装に向けて必要となる基盤・応用研究を実施するフェーズ。 ※要素技術の信頼性や品質の向上、システムの設計・運用に関する研究やプロトタイプの作成などが該当する。 ※消防防災分野でのニーズを既に把握しているもので、基礎研究が終了している段階のものに限る。	2,200 万円 ／年度	1,000 万円 ／年度	1～2年間
社会実装研究 (フェーズ3)	○社会実装を目指した研究開発を実施するフェーズ。 ※消防本部や自治体等への試験的配備や実証実験を目的とした機器の作成などが該当する。 ※消防防災分野でのニーズを既に把握しているもので、基礎研究及び基盤・応用研究が終了している段階のものに限る。	3,700 万円 ／年度	1,800 万円 ／年度	1～2年間

4. 研究開発の参画

研究代表者、研究協力者又は研究支援者として、消防機関（消防本部又は消防署）又は地方公共団体の消防・防災を担当する部署（以下、「消防機関等」という。）に所属する者が1名以上参画することが必要です。

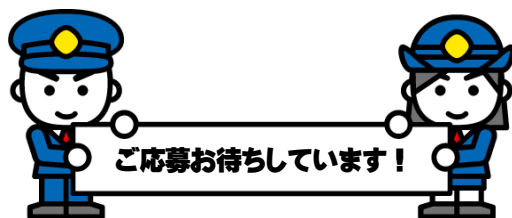
なお、申請時点で参画する消防機関等を決定する必要はありませんが、採択（3月頃を予定）までに消防機関等を決定し、参画の同意を得る必要があります。

※採択に係る受託意思の確認時点で消防機関等の参画が確認できない場合は不採択となります。

5. 応募方法

公募要領 (<https://www.fdma.go.jp/mission/develop/develop001.html>) に従い、府省共通研究開発管理システム（e-Rad）により申請を行ってください。

※この公募は、令和6年度予算の成立を前提として実施するものであるため、予算が成立しなかった場合には契約の締結ができない場合もあり得ることをあらかじめご承知おきください。



< 担当 >

消防庁予防課（消防技術政策担当）

千葉・並木・山本・村松

Tel : 03-5253-7541

Mail : gisei2_atmark_ml.soumu.go.jp

※スパムメール対策のため、「@」を

「_atmark_」と表示しております。

送信の際には、「@」に変更してください。